

令和7年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
2級 ロジスティクス・オペレーション

試験問題

(14ページ)

1. 試験時間 110分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和7年5月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (7) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (8) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (9) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (14) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題文中、次の法令名は略称で記載されています。

- ・私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律 → 独占禁止法
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律 → 地球温暖化対策推進法

問題1 包装に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送包装においては、物流作業者の作業性についても留意することが重要である。
- イ. 包装の保護機能を決める際に、過剰包装にならないように、JISが適切と考えられる落下試験の条件を規定している。
- ウ. JISにおける「包装」と「梱包」の定義に明確な違いはなく、使い分けもされていない。
- エ. 輸送包装は、輸送中に受ける様々な外力から内容品を保護することを目的としている。
- オ. 消費者包装は、最終消費者の目を引き、購買意欲を高めることを考慮した包装である。

問題2 適正包装や適正荷役に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. JIS Z 0200に定められた包装貨物試験の落下高さの条件は、10kg未満の包装品である場合、想定される荷扱いの条件によって40cmから80cmと定められている。
- イ. 輸送包装における適正荷役とは、内容品や内容品に施された包装に対し異常を生じさせることなく、着荷主や消費者の手元に届けることができる荷役作業のことである。
- ウ. 消費者包装での適正包装とは、過剰包装・過大包装、ごまかし包装などを是正し、同時に欠陥包装を排除するため、保護性、安全性などについても適切である包装のことである。
- エ. 輸送包装での適正包装とは、流通過程での振動、衝撃、圧縮などによって物品の価値、状態の低下をきたさないような流通の実態に対応した包装のことである。
- オ. 適正包装とは、省資源、省エネルギー及び廃棄物処理性を考慮し、合理的で、かつ公正な包装のことである。

問題3 輸送包装に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送機器への積載計画では、ネット（オーバーハング部分を含まない）ユニットロードサイズで行う。
- イ. トランクの荷台、JRコンテナや海上コンテナの内法サイズから積卸しに必要な作業余裕サイズを引いて、外法サイズを決める。
- ウ. 輸送包装サイズと包装モジュール寸法の長さ幅の最小寸法は、共に200mm以上である。
- エ. 包装モジュール600×400mmは、ヨーロパレットを5分割したものである。
- オ. 包装モジュール550×366mmは、T11型のパレットサイズを基準とし、縦横とも2分割した数値となっている。

問題4 データキャリアに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ISOでは、RFIDのうち、モノにつけるタグをRFタグと呼び、人が携帯するタグをICカードと呼ぶ。
- イ. PDF417は、レーザースキャンが可能であるが、汚れには弱い。
- ウ. 2次元シンボルには、1次元シンボルを積み重ねたスタック式コードと白黒のマスク目を縦横に配置したマトリックス式コードがある。
- エ. ITFシンボルは、コードの桁数を最長桁のGTIN-14にそろえるように推奨されている。
- オ. RFIDの問題点の一つとして、バーコードラベルと比べてRFタグが高価であることが挙げられる。

問題5 一貫パレチゼーションの推進に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 生産から販売に至るまでの部署との調整が必要となるため、経営者も含めた社内組織で活動することが望ましい。
- イ. プロジェクトの継続性を維持するため、実施の体制が確立するまでメンバーを変更しない。
- ウ. 着荷主に一貫パレチゼーションの効果を認識してもらう。
- エ. パレットの必要数量は、1回収サイクル分の枚数に抑えることが重要である。
- オ. パレットサイズに合っていない物品は、包装サイズや商品設計の再検討をすることも必要である。

問題6 パレットへの貨物の積付けパターンである「交互列積み」に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 風車形に積み付けるパターンのことであり、各段に貨物の向きを変えて積み付ける。
- イ. 貨物の縦並べと横並べとを組み合わせて1段に積み、奇数段と偶数段とを180度ずつ回転させて積み付けるパターンのことであり、長方形パレットに積み付けるときに多く用いられる方法である。
- ウ. 奇数段と偶数段とを90度ずつ回転して積み付けていくパターンのことであり、このパターンが適用できるのは、正方形のパレットで、一辺の長さが貨物の長さ、幅寸法の整数倍となる場合である。
- エ. 貨物の縦並べと横並べとを組み合わせて1段に積み、奇数段と偶数段とを180度ずつ回転させて積み付けるパターンのことであるが、貨物とパレットとの寸法の関係から、物品の間に部分的に空間（隙間）ができる。
- オ. 箱の向きを変えずに並べたパターンのまま、最下段から積み付けていくパターンのことである。

問題7 ユニットロードシステムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際貨物コンテナのFCL複合一貫輸送のメリットとして、発地から着地まで封印されたまま運ばれるため、貨物の盗難が少ないことが挙げられる。
- イ. 一貫パレチゼーションのデメリットとしては、パレットの厚みにより積載段数が減ることが挙げられる。
- ウ. ユニットロードシステムの運用に際しては、必要なパレットやコンテナの手配に加え、荷役が発生する各地点での荷役機器の準備が必要である。
- エ. コンテナ輸送は、FCLの場合、荷役作業時間だけでなく通関等の手続も短時間で済むことが多い。
- オ. パレタイズされた貨物は、バラ積みと比較して積込みの時間と工数が削減されるが、トラックの待ち時間短縮にはつながらない。

問題8 国際海上コンテナ輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 海上コンテナ内での荷崩れを防止するダンネージ、ラッシング、ショアリングに木材を使用する場合は、熱処理又は燻蒸処理等の対応が必要である。
- イ. 海上コンテナへのバンニングは、トレーラの横転、荷役でのバランス不良を防止するため、偏荷、高重心を避けて積み込むことが重要である。
- ウ. 複合一貫輸送では、工場や倉庫でのバンニング後に施錠し、海上輸送後に、荷受側にて開錠・デバンニングされている。
- エ. RORO船では、海上コンテナを積載したトレーラが自走乗船してトレーラヘッド（トラクター）を切り離し、シャシと海上コンテナのみで輸送することができる。
- オ. 海上コンテナのコンテナヤードでのコンテナ船への積卸しには、ストラドルキャリアが使用される。

問題9 物流センター計画の分析に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 作業別の物量分析では、入庫、保管、ピッキングなどの作業毎の数量のみならず、カテゴリー区分、サイズ、入出庫頻度などの要素も勘案して分析する。
- イ. 誤納品率や納品リードタイムは、物流サービスレベルには含まれない。
- ウ. マテハンシステム計画におけるモノの流れを分析する場合、物流フローに物流量や荷姿なども併記すると複雑となるので、好ましくない。
- エ. 物流センター計画の分析では、情報関連の分析は行わない。
- オ. 荷姿の分析は、単品荷姿の分析をすることであり、ユニットロード化された荷姿の分析は含まれない。

問題10 物流センター計画に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流作業スケジュールとは、物流センター内における入荷から出荷までの作業時間割のことである。
- イ. 物流センター計画の目的としては、サービスレベルの向上、スペース不足の解消、運営経費の削減、分散している物流センターの統合等がある。
- ウ. 物流センターにおいてMHシステムを構築する場合には、工程図記号を活用して、加工、運搬、検査、停滯等のモノの動きを記録して分析する。
- エ. 動線分析とは、物流センター庫内作業における入荷から出荷までの物流プロセスで表現し、プロセス間のフローを示す分析のことである。
- オ. レイアウトの計画において、MH設備が十分に機能しないと、物流作業効率の低下、作業人員の増加、作業ミスの多発等の要因となる。

問題11 物流センターにおけるMHシステムの計画に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. オーダー別ピッキング作業におけるピッキング作業者1人当たりの歩行距離は、シングルピッキング方式よりもリレー式ピッキング方式の方が長い。
- イ. 物流センターのロケーション管理、入出庫管理、作業指示等を管理するための物流情報システムがMHシステムである。
- ウ. ダブルトランザクション方式は、ピッキング間口を2カ所に設定し、ピッキング作業の効率化を図るものである。
- エ. 在庫型物流センターの全体レイアウト計画では、直近の年間取扱物量と在庫回転数等の実績データに、経営計画や事業計画を反映させて、保管場所の容積や面積を想定する。
- オ. 自動仕分けシステムは、分岐ライン数（シート数）にレイアウト上のスペースの制限があり、シート数よりも仕分け方面数の方が多い場合、その採用は出来ない。

問題12 物流センター計画で利用されるMH設備に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. MH設備が担う作業には、「積卸し」、「運搬」、「積付け」、「ピッキング」、「仕分け」、「荷揃え」等がある。
- イ. 自動搬送システムには、コンベヤ系（ベルトコンベヤ、チェーンコンベヤ、ローラーコンベヤ等）と、台車系（無軌道式自走台車、軌道式自走台車、軌道式他動台車等）等がある。
- ウ. ピッキングの設備には、移動式ラック（駆動式、手動式等）や、流動式ラック（傾斜式、駆動式等）等がある。
- エ. 自動仕分けシステムには、押し出し式（スライドシュー型、ダイバータ型等）、浮き出し式（ベルト型、ローラ型等）、傾倒式（スラット型、トレイ型等）等がある。
- オ. MHシステムの計画においては、一般的に、①出庫方式、②保管方式、③搬送方式の順で決めていく。

問題13 物流センターのオペレーション計画に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流センターにおける日々の作業スケジュールは、ピッキング作業を優先して作成する。
- イ. 作業スケジュール作成に当たり、モノの流れを検証するために、アクティビティ相互関連図を作成する。
- ウ. シールピッキングにおけるシールには、ピッキング指示機能だけでなく、検数機能もある。
- エ. 自動仕分けシステムの能力を発揮させるためには、上流工程である商品集品作業やインダクションへの商品投入作業、下流工程であるシート下作業など一連の工程において、上流工程ほど、処理能力をより高く設定する。
- オ. 作業スケジュール立案において、ダブルトランザクション方式を採用する場合、ピッキング・ロケーションからストック・ロケーションへの商品補充作業をスケジュール表に組み込む。

問題14 物流センターにおけるオペレーションミスに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 経営者・管理者は、作業者（人）はミスをすることを前提にミスを未然に防ぐ仕組みを考慮しなければならない。
- イ. 要員配置計画では、要員不足が生じないように、年間作業ピーク時に対応した要員計画を組み、配置する必要がある。
- ウ. 現場端末（ハンディ端末）によるオンライン指示の場合、指示情報は正確に伝えるために、細かい情報を全て表示する必要がある。
- エ. オペレーションミスが発生した時は、ミスを犯した作業者を呼び、同じミスをしないよう本人に注意する。
- オ. 5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、しつけ）は働きやすい職場環境を作るための活動であり、オペレーションミスを防ぐ効果は無い。

問題15 物流における機械化・自動化に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 立体自動倉庫の採用を検討する場合、対象貨物の荷姿、取扱い貨物量、入出庫頻度等の将来にわたる作業条件の変化を十分に考慮する必要がある。
- イ. 入荷検品作業の機械化・自動化には、バーコードやRFID等の自動認識技術の活用とともに、荷送人と予め取引ルールを明確にしておくことが必要である。
- ウ. 機械化・自動化の主な対象に、折り畳みコンテナの組立等の作業は含まれない。
- エ. 無人搬送車の自動走行方式には、有軌道の経路誘導方式と、無軌道の自律移動式及び追従式がある。
- オ. 機械化・自動化計画の目的として、顧客に対する物流サービスレベルの向上、処理能力不足、作業要員不足等への対応が挙げられる。

問題16 物流センターにおける機械化・自動化の進め方に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 機械化・自動化を進める上で、省力効果等の達成目標を具体的な数値として作成し、実施後に達成度を評価できるようにする必要がある。
- イ. 十分な仕分け能力を持つ仕分け機器を導入すれば、投入や取り出しも含めて仕分け作業を0人で行うことができる。
- ウ. トラックへの積込み・荷卸し作業の機械化・自動化は、作業効率、費用対効果、作業要員不足、安全性の向上等への対応として重要な課題になっている。
- エ. 小口貨物を対象とするコンテナ式立体自動倉庫は、ピッキングシステムと組み合わせ、作業の容易性、確実な作業管理を重視して採用されている。
- オ. 機械化・自動化を進める上で、作業者と設備の役割分担において働きがい、安全性に問題がないかを考慮する必要がある。

問題17 小集団活動に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 小集団活動は、作業ミスやコストの削減等の定量的な効果が得られるものが対象であり、人材育成やコミュニケーションの改善等の定性的な効果が得られるものは対象とはならない。
- イ. 小集団活動における問題解決手法の一つであるKJ法では、グルーピングされたカードに記入された問題点を「原因と結果」や「目的と手段」の関係に従って結びつけながら、問題の構造を明らかにする。
- ウ. 物流センターにおける小集団活動とは、物流センターの作業者がつくる小集団が、管理者による管理の下で職場改善活動を行うことである。
- エ. 小集団活動は、問題解決のための手法が理解できれば成功する。
- オ. 小集団活動では、活動経験や品質管理の知識が異なるメンバーが混在することは望ましくない。

問題18 QCに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. QCサークル活動は、定着した継続的な活動ではなく、一時的な活動である。
- イ. QC7つ道具は、品質管理活動を進めるための、現場で発生する定性的な事象を定量的に分析する技法（道具）である。
- ウ. 特性要因図とは、特性（結果）とそれに影響を及ぼすと思われる要因（原因）との関係を整理して体系化した図である。
- エ. パレート図は、物流センターでは、取扱品種ごとの在庫数量分析や、入出庫量分析などのレイアウト設計などで用いられる。
- オ. p管理図では、製品を良品と不良品に分けた場合の不良品の現れる割合などのデータを用いる。

問題19 作業改善のための分析手法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 動作分析とは、人の動作を18に分類したサーブリッギ記号に集約して、その単位で作業動作を分析し、作業の改善を図る手法である。
- イ. タイムスタディとは、作業者の作業を現場で直接観測し、要素作業ごとの所要時間を測定し、分析することである。
- ウ. Mini-MOSTは、小さなモノの組立てや包装のような繰り返し性の高いサイクル作業を測定する場合に使用する。
- エ. 運搬活性分析で用いられる活性示数が0の場合は、床にモノがばらで置かれていることを示す。
- オ. ワークサンプリングは、現実に行っている作業において、ムダな時間が多いか少ないかを発見できるとともに、作業の標準時間も求めることができる。

問題20 作業改善の分析方法の目的や内容に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 運搬工程分析の目的は、モノの移動が逆行及び交差する箇所などの改善箇所を抽出することである。
- イ. 運搬活性分析の目的は、モノの置き方の適否、運搬設備の良否判定とその比較、各工程での改善要点を抽出することである。
- ウ. M O S Tでは、実際にはまだ作業を行っていない新規業務の時間を見積もることはできない。
- エ. ワークサンプリングでは、比較的短時間に少ない工数で、人の稼働状況の定量分析ができる。
- オ. 工程分析とは、材料、商品、半製品などのモノの流れ、作業の流れを順序に従って「加工」、「運搬」、「停滯」、「検査」の内容で分析する手法である。

問題21 物流A B Cに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流A B Cでは、顧客ごとの物流コストは算出できない。
- イ. 物流A B Cを導入する場合、改善する目的と比較する対象を明確に決めておかなくてよい。
- ウ. 物流A B Cでは、減価償却が終了した機械設備の修繕費は、発生原価に含まない。
- エ. 物流A B Cでは、投入要素の資源消耗品費のうち、パレットのように繰り返し使用するものは、年間購入額を施設稼働日数で除することで1日当たりの発生原価を求める。
- オ. 物流A B Cで設定する作業単位は、なるべく細かく設定するのが望ましい。

問題22 設備投資の採算計算に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 設備投資の採算計算は、物流センターの新設計画あるいは改善計画において、概略（基本）設計の段階で検討する場合に用いられる。
- イ. 物流センターを新設する場合の物流センターの運営に必要な要員数に、パートタイム労働者は含まれない。
- ウ. 物流センターを新設する場合、導入設備と各設備の投資額に、物流センターの建築費は含まれる。
- エ. 物流センターを新設する場合、各設備の減価償却費（年度）、修繕費を算出する（情報システム費用も含む）。
- オ. 設備投資に対する投資の採算計算によって、新たな物流センターの経済性について、定量的に評価できる。

問題23 物流作業に係る作業資格に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. クレーン運転に関する資格を取得すれば、つり上げの際の荷掛け、荷外しができる。
- イ. フォークリフトの運転技能講習を修了すれば、積載最大荷重に関わらず、フォークリフトを公道上で走行させることができる。
- ウ. クレーン運転の業務に関わる特別教育を修了すれば、つり上げ荷重5t未満の移動式クレーンを操作することができる。
- エ. デリックの運転の業務に関わる特別教育を修了すれば、つり上げ荷重5t以上のデリックを運転することができる。
- オ. 床上操作式クレーン運転技能講習を修了すれば、つり上げ荷重に関わらず、床上操作式クレーンを操作することができる。

問題24 リスクアセスメントに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. フェイルソフトとは、機器の一部が損傷、故障、停止などしても、全ての機能を停止しないように予備の系統に自動的に切り替えるなどして、機器の信頼性を高めることをいう。
- イ. フールプルーフとは、人間が知らずに間違った操作をしたときに、機械が作動しないように設計することをいう。
- ウ. フェイルセーフとは、機器の一部が損傷、故障、停止などしても、より重大な災害が生じないようにする安全機構や仕組みのことをいう。
- エ. 物流の現場においては、リスクアセスメントの実施とその結果に基づき必要な措置を講じることが努力義務とされている。
- オ. リスクアセスメントは、リスク特定、リスク分析、リスク評価、リスク対処の手順で行う。

問題25 貨物輸送機関の特性に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. トランク輸送は、長距離輸送の場合、船舶や鉄道と比較して運賃が割安である。
- イ. 航空輸送は、運賃負担力が大きい少量商品の中長距離輸送に適している。
- ウ. 鉄道輸送は、運賃負担力の小さい大量商品の長距離輸送には向きである。
- エ. 船舶輸送は、輸送速度が鉄道輸送に比べて速い。
- オ. 國際複合輸送の輸送機関の組合せは、リードタイムの短縮を目的とするものではなく、輸送コストの低減を主目的として行われている。

問題26 輸送機関の特性に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 内航海運のうち在来船は、日用雑貨品等、多くの消費財の輸送に使用されている。
- イ. 31ft鉄道コンテナは、10 t トラックと同等の内容積を持っている。
- ウ. 車両総質量36 t のセミトレーラは、分割不可能な単体物のみ輸送が可能である。
- エ. 鉄道利用運送事業者が共同で運営している東京－大阪間直行の31ftコンテナ輸送専用の列車は、スーパーレールカーゴと呼ばれている。
- オ. ドリー式フルトレーラは、センターアクスル式トレーラよりもバック（後進）運転が容易である。

問題27 工場から複数の物流拠点を経由して、全国の販売先に製品を配送する場合の輸送機関の選定に関し、最も不適切なものは次のうちどれか。

- ア. 工場から物流拠点への一次輸送の場合には、貸切便（チャーター便、車建て）を利用する。
- イ. 一次輸送で、利用できるトラックの帰り便があり、積荷に与える品質上の影響がない場合は、極力この帰り便を利用する。
- ウ. 4 t 以上の重量品は工場直送で、積載重量に応じた貸切便を手配する。
- エ. ケース単位の製品を物流拠点から販売先に配送する場合は、特別積み合せ便、または宅配便に依頼する。
- オ. 配送先での設置、組立てが必要な大型設備の配送は、特別積み合せ便に依頼する。

問題28 通信販売における商品の配送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 配達員の態度などのクレームは、通信販売業者が配送業者を選択するときの考慮項目とはならない。
- イ. 長尺モノ、重量品、^{かさ}嵩モノなどは特別積合せ便等を利用する。
- ウ. メール便は宅配便に比べて安価だが、大きさや重量など利用可能な商品に制約がある。
- エ. 企業によっては、自社で配送網を構築している場合もある。
- オ. 購入条件として「送料無料」の場合でも、送料は通信販売業者が負担している。

問題29 物流サービスに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 納品のリードタイムが長ければ、物流拠点を集約することによる総物流費の削減が期待できる。
- イ. 発注した商品が欠品等なく指定した納期どおりに供給された比率のことを、在庫充足率という。
- ウ. 物流センターでの流通加工や納品先での棚入れも物流サービスの一種である。
- エ. 配送コスト、物流センターまでの輸送コスト、物流センターでのコストの間には、トレードオフの関係がある。
- オ. 物流サービスレベルを高めることによる売上増を検討する場合には、それに伴う総物流費の上昇とのバランスを取る必要がある。

問題30 複数の地域D Pからの配送する場合における、各地域D Pの配送エリアの決定方法についての記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 配送対象地域の配送先所在地、配送量、配送単位等の実績、又は予測データを収集・整理する。
- イ. 各D Pの位置を地図上にプロットする。
- ウ. 行政区（市町）単位に配送量を合計・整理する。
- エ. 各D Pの配送量のバランスを見て配送エリアを入れ替えてみる。
- オ. 配送上の制約条件（交通渋滞、交通規制等）を考慮して配送ルートを検討し、配送エリアを決める。

問題31 配車計画システム構築における留意点に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. パッケージソフトをカスタマイズする場合、依頼するソフトウェア会社の選択にも留意すべきである。
- イ. システム導入の目的は、配車担当者だけでなく管理者やシステム開発担当者とも共有すべきである。
- ウ. 開発コスト削減と開発期間短縮のため、可能であればパッケージソフトをベースとして開発すべきである。
- エ. 各種画面等はベテランの配車担当者以外にも理解しやすいように、視覚的な工夫をすべきである。
- オ. システムは、手作業による調整が発生しないように、例外にも備えて自動化すべきである。

問題32 輸配達計画のための情報通信システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. I T S（高度道路交通システム）とは、情報技術を用いて車両と道路を結び、交通事故、渋滞等による影響の回避を図る交通システムのことである。
- イ. G I S（地理情報システム）とは、地理的位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする情報システムのことである。
- ウ. G P S（全地球測位システム）とは、人工衛星を利用して、地球上のどの位置にいるかを割り出すシステムのことである。
- エ. ダイクストラ法とは、地図上で最短経路を解くためのアルゴリズムの一つであり、出発点から目的地までの各経路を直線距離で計算することである。
- オ. V I C S（道路交通情報通信システム）とは、渋滞や交通規制などの道路交通情報をカーナビゲーション等に送信するシステムのことである。

問題33 共同配送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 共同配送とは、異なる企業の貨物を同じトラックを使い共同で配送することである。
- イ. コンビニエンスストアの共同配送センターでは、フローズン、チルド、定温、常温等の温度帯別に配送センターが設置されている。
- ウ. 共同配送に取り組む際は、各社が自社の都合を優先することでより良い仕組みが構築できる。
- エ. 共同配送の実現・継続に大切なのは、目的の明確化と共有化である。
- オ. 共同配送の阻害要因には、情報システムの不統一などがある。

問題34 特殊輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 特殊貨物とは、「液体、粉粒体、動物、植物、冷凍品、貴重品、危険品などで、特別の荷扱い及び積付けを必要とする特殊な貨物」のことである。
- イ. 消防法で指定する危険物を移送する際は、危険物取扱者の資格者が乗車する必要がある。
- ウ. 高圧ガスを輸送する際は、車両に高圧ガス積載車両のマークを表示しなければならない。
- エ. 産業廃棄物を輸送する場合、各都道府県単位で廃棄物の収集運搬の登録が必要となる。
- オ. 一般的に低温物流には、冷凍、チルドがあり、その他に、冷凍マグロなどを輸送・保管する超低温の温度帯もある。

問題35 国際輸送に関する条約についての記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際海上輸送においては、日本はヘーグ・ヴィスピー・ルールを批准しており、同ルールに基づき、国際海上物品運送法が制定されている。
- イ. ヘーグ・ヴィスピー・ルールでは、航行又は船舶取扱上の船長、海員、水先人、使用者の過失について、海上運送人は責任を負う。
- ウ. ハンブルグ・ルールは、ヘーグ・ヴィスピー・ルールと比較して、海上運送人に対して、より厳しい責任を課している。
- エ. 国連国際物品複合運送条約では、ユニフォーム・ライアビリティ・システムを規定している。
- オ. 日本では、複合運送人の責任原則としてネットワーク・ライアビリティ・システムを採用している。

問題36 外航海運に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 日本商船隊には、日本の外航海運企業が自ら所有する日本籍船のみならず、外国企業から用船した外国籍船を含む。
- イ. 世界の海上荷動きに占める日本商船隊の輸送量の割合は減少傾向にあり、最近では10%を下回っている。
- ウ. 日本籍船は1972年の1,580隻をピークに減少を続け、一時は100隻を下回ったが、2008年以降増加に転じ、最近では200隻を上回っている。
- エ. 便宜置籍船とは、船員費対策や節税のため、実質的な船主の国籍と異なる国に便宜的に船籍を置いた船である。
- オ. 日本籍船における日本人船員の配乗要件が緩和され、現在では日本人が船長であれば他の船員は全て外国人であってもよい。

問題37 国際航空貨物運賃に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際航空貨物運賃は、I C A Oの運賃調整会議の決定に基づき、関係国政府に申請し、その認可を受けて発効する。
- イ. 国際航空貨物運賃は、原則としてドル建てで表示される。
- ウ. 運賃率を適用する質量は、貨物の実質量と、貨物の容積に航空会社が定める一定の容積換算係数をかけて求めた容積換算質量と比べ、軽い方の質量を適用する。
- エ. 申告価格が運送会社の規則を超える高価な貨物を輸送する場合には、規則に従った従価料金が適用される。
- オ. 国際航空貨物運賃は、国際的に独占禁止法の適用除外として認められており、原則的に同一貨物同一運賃となっている。

問題38 貨物利用運送事業に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 第二種貨物利用運送事業を行おうとする者は、国土交通大臣に届け出が必要である。
- イ. 第一種貨物利用運送事業は、単一の輸送機関（船舶・貨物自動車・航空・鉄道）の利用運送事業である。
- ウ. 第二種貨物利用運送事業は、海運や航空などの利用運送とこれに先行・後続するトランク集配により、荷主に一貫サービスを提供する事業である。
- エ. 貨物利用運送事業法の対象に、港湾運送事業は含まれない。
- オ. 貨物利用運送事業者は、他の運送事業者と運送委託契約を結び貨物の運送を委託し、他方、荷主との間では運送契約を結び、荷主に対して運送責任を負う。

問題39 地球温暖化問題に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 日本は、京都議定書で約束した温室効果ガス削減目標を達成することができた。
- イ. 日本政府は、パリ協定の目標を達成するため、2016年に地球温暖化対策推進法を改正し、地球温暖化対策計画を策定した。
- ウ. 日本は、現在、温室効果ガス削減目標として、2030年度において2013年度比26%削減を掲げている。
- エ. 貨物輸送部門を含む運輸部門の温室効果ガス削減目標として、2030年度において2013年度比35%削減を掲げている。
- オ. 貨物輸送部門における二酸化炭素排出量のうち、約9割を貨物自動車が占めている。

問題40 企業の社会的責任に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. CFP（カーボンフットプリント）は、環境負荷を低減するための環境マネジメントシステムの国際規格である。
- イ. 交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となるグリーン経営認証の審査対象は輸送事業のみであり、倉庫業は対象外である。
- ウ. 環境省の環境報告書ガイドライン制定により、上場企業は環境報告書の作成と公表が義務付けられている。
- エ. 運輸安全マネジメント制度は、運輸事業者自らが経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築・改善することにより、輸送の安全性を向上させることを目的として導入された。
- オ. 安全性優良事業所（Gマーク事業所）は、国家公安委員会が安全性の高いトラック運送事業者として認定した事業所である。